

平成30年11月2日

県政記者クラブ 会員各位

岩手県総務部総合防災室

**平成30年度岩手県総合防災訓練の実施及び併催する
みちのくアラート2018への参加について**

平成30年度岩手県総合防災訓練等を下記のとおり実施することとしましたので、お知らせします。

記**1 総合防災訓練の概要****(1) 目的**

東日本大震災津波、岩手・宮城内陸地震及び台風第10号等の大規模災害の教訓を生かし、「自助」、「共助」、「公助」のそれぞれの災害対応力の強化を図ることを目的として実施する。

(2) テーマ 災害から守れ！自分で、家族で、地域で。

(3) 共催

宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村、宮古地区広域行政組合消防本部

(4) 実施日時

平成30年11月9日(金) 8時30分～15時00分

平成30年11月10日(土) 8時30分～12時30分

(5) 訓練場所

市町名	主要な訓練会場
宮古市	宮古市民交流センター、宮古市立第一中学校、同宮古小学校等
山田町	山田町立豊間根小学校
岩泉町	岩泉町立小本小学校・中学校、小本津波防災センター
田野畑村	田野畑村中央防災センター、緑地等管理中央センター等

(6) 訓練の重点**ア 本部支援室運用訓練(11月9日(金))**

(ア) 県境を超えた災害情報の共有(岩手県災害情報システムと他官庁・機関システムとの電子的接続による情報共有であり、東北で初の試み)

(イ) 県職員非常時連絡態勢の確認

イ 地震による津波の発生及び土砂災害を想定した訓練（11月10日（土））

- (ア) 防災対策、避難
高台避難、来訪者（外国人観光客等）避難、福祉施設入所者避難
- (イ) 避難所運営
住民と連携した運営訓練、災害ボランティアによる支援
- (ウ) 地域住民等に対する防災知識の普及啓発及び防災意識の高揚
学校・家庭・地域が連携した防災学習及び防災訓練
- (エ) 災害現場における防災関係機関の連携強化
応急救護所開設・運営、多数のヘリを使用した傷病者搬送等

(7) 訓練参加機関数及び訓練項目数（平成30年10月15日現在）

2日間で138機関が計126項目の訓練を検討中（9日4項目、10日122項目）

2 みちのくアラート2018（岩手県関連分）の概要

(1) 自衛隊による訓練内容

ア 11月9日（金）

前段訓練として三陸沖地震津波想定により発災から初動対応までを実動と図上訓練を併せて実施

イ 11月10日（土）及び11日（日）

後段訓練として各自治体と自衛隊間で調整の上、合意した訓練を実施

- ・ 情報収集・共有、搜索、人命救助、広域医療搬送
- ・ 給水・給食支援、入浴支援、インフラ復旧

(2) 参加予定機関

自衛隊、東北6県、各県内の参加希望市町村、防災関係機関

(3) 県内市町村の参加（11市7町1村）

ア 市町村：盛岡市、八幡平市、遠野市、花巻市、一関市、久慈市、二戸市、宮古市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、岩手町、葛巻町、洋野町、山田町、岩泉町、住田町、一戸町、田野畑村

イ 訓練項目：図上訓練の他、17の実動訓練

【担当：総合防災室 防災危機管理監 西島（内線5162）】